

令和5年7月10日

地方独立行政法人山梨県立病院機構
理事長 小俣 政男

令和4年度の決算と今後の取り組み

令和4年度の決算が整いましたので、決算の状況及び今後の取り組みについてご報告いたします。

A) 決算の状況

令和4年度決算

令和4年度は、第3期中期計画期間の3年目ではありますが、計画と比較して、経常利益は9億7,700万円増の20億3,100万円、純利益は9億3,800万円増の19億6,100万円となりました。

地方独立行政法人化後13年間において、経常利益は過去3番目、純利益は過去2番目の金額を計上しております。

B) 病院の現状と展望

① 救命救急医療体制の充実・強化

中央病院は、県内唯一の高度救命救急センターとして、病院外心肺停止、重症外傷、急性中毒等、より高度で専門的な救急医療を提供しております。

また、各消防本部からの要請により、24時間体制で3次救急患者を受け入れており、2次救急患者や他の病院等で受け入れることができなかった重症患者についても受け入れているところであり、救急車での搬送人数は、7,261人となりました。

なお、令和4年度は、CT及びMRIの更新の他、医療スペースを確保するための、中央病院本館東側増築工事を実施しており、今後とも山梨県の基幹病院として、セーフティーネットの役割を果たして参ります。

② 総合周産期母子医療への取り組み

中央病院では、県内全てのハイリスクの妊婦等を受け入れ、専門的な医療を提供しております。

また、胎児超音波スクリーニング検査などにより、胎児に係る疾患の早期発見に努め、分娩までの継続的なサポートをとおして、母体・胎児への継続的な支援を行って参ります。

③ がん医療への取り組み

中央病院では、がんの可能性のある患者さんの血液などから遺伝子を検査し、最も効果的な化学療法を提供しております。

また、がんゲノム医療について、東京大学医学部付属病院と連携した取り組みを実施する他、令和5年3月には、がん遺伝子パネル検査の医学的解釈及び治療方針について、独自に決定することができる「がんゲノム医療拠点病院」（全国で32施設）に指定されたところです。

今後とも、がん医療の質の向上に努めて参ります。

④ 先進医療への取り組み

中央病院では、低侵襲手術支援ロボット da Vinci Xi を導入しており、手術件数は前年度比23.7%増の413件となりました。

また、da Vinci Xi で手術することにより、従来の手術と比較して患者さんの身体への負担が少なく、入院期間も短縮されております。

今後も独立行政法人制度の特性を活かし、高度で専門的な医療を提供して参ります。

⑤ 県立北病院における精神科救急、児童思春期精神科、重症通院患者への医療の充実

北病院では、平成27年度から本格的に県の精神科救急医療体制の24時間化に対応し、常時対応型病院として、救急患者を受け入れ、治療を行うとともに、平成31年4月に訪問看護ステーションを開設し、退院後、地域で生活する重症通院患者さんに対して継続的に支援を行っております。

今後も、地域の精神科救急、児童思春期精神科、重症通院患者、依存症患者等への医療の充実を図って参ります。

⑥ 地域に根差した医療従事者の育成

令和5年度も23人の初期臨床研修医を採用し、初期臨床研修医46人、専攻医61人 計107人の若手医師が在籍しています。これは、当院の全医師241人の44.4%となります。

これら若手医師の教育は、将来にわたって山梨県の医療の質的及び量的な基盤になると考え、当機構に在籍する高度な知識と技術を有する医師の指導のもと、日々の研鑽を積んでおります。

また、令和4年度は、中央病院において看護師の特定行為研修を開始し、中央病院看護師7人が修了しております。

今後も、山梨県の地域医療を支えるため、多くの医療従事者を育成できる教育環境の整備を図って参ります。

⑦ より親切、信頼される病院を目指して

患者さんの会計待ち時間解消のため、外来会計窓口の直営化を行った結果、令和4年度の会計平均待ち時間は、前年度と比べて3分減の8.2分に改善いたしました。

併せて、採血採尿自動受付機の導入や採血台の増設することで、患者待ち時間の短縮を図るなど、患者サービスの向上に努めて参ります。

⑧ 退院後も見据えた患者支援

中央病院の患者支援センターにおいて、患者相談の受け付けや、退院調整のための巡回相談を担当看護師と連携して行うなど、患者や家族に対して安心できるサポートを行いました。退院支援件数は、前年度と比べて10.7%増の4,573人となっています。

また、退院後も患者が安心して在宅で療養できるよう地域の訪問看護ステーション等と連携した退院後訪問を開始いたしました。

今後も、県民の健康の確保と増進に寄与することを目指して、職員一丸となって日々努めて参ります。

⑨ 基幹災害拠点病院としての使命を果たすために

山梨県唯一の基幹災害拠点病院として、災害時の初動活動を強化するため、令和4年4月から災害対策センターを設置いたしました。

また、害発生時における通信を確保するため、携帯電話基地局と病院専用の基地局で通信を二重化するため、室内アンテナ設備設置工事

を行いました。

⑩ 新型コロナウイルス感染症への取組

新型コロナウイルス感染症については、患者さんの健康・生命・生活を守り、当院の医療の使命を堅持しながらコロナ撲滅に邁進することを理念として、医師・看護師・コメディカル・事務が一丸となって取り組んで参りました。

県立中央病院及び県立北病院は、県の基幹病院として、先進医療を取り入れながら、職員一同“早くきれいに治す”を合言葉に、患者さんが一日も早く元気な姿でご家族の元にお帰りになれるよう取り組んで参る所存です。

今後ともご支援のほどお願い申し上げます。